

授業科目名	政治経済史 I	選 択	開講年次	1	単位数	2
科目区分	基本科目／教科に関する科目（地歴・社会）					
サブタイトル	近代化の再考		担当者	菊島 啓		
講義概要	<p>【概要】</p> <p>本講義では、歴史の構造面から全体史の重要性を説き、その上で政治史と経済史に視点を据えて近代史を概説する。特に、ヨーロッパで起こった近代に関して、具体的事例などを通して理解を深めていく。さらに、近代が今日どのような問題群と結びついているかを考えて行きたい。</p> <p>【到達目標】</p> <p>近代とは何かといった基本を理解し、われわれの社会に定着している国民国家や国民経済の枠組みを正確に把握することに主眼を置く。</p>					
履修条件	私語を慎み、真面目に受講すること。					
教科書・参考書	<p>【教科書】</p> <p>特になし</p> <p>【参考書】</p> <p>佐伯啓思『人間は進歩してきたか』（PHP 新書、2001年）</p>					
授業回数	内容					
1	ガイダンス、歴史学とは何か、政治経済史とは何か					
2	近代を考える、近代の捉え方					
3	中世ヨーロッパ社会、近代社会					
4	近代国民国家の形成					
5	近代国民経済の形成					
6	重商主義時代のヨーロッパ					
7	大航海時代のヨーロッパとアジア					
8	旧大陸と新大陸の物産新結合					
9	アジア物産からの離脱					
10	産業革命Ⅰ（農業革命、商業革命など）					
11	産業革命Ⅱ（交通革命、工業革命など）					
12	帝国主義と植民地主義					
13	ロシア革命、第一次、第二次世界大戦、民族問題					
14	戦後の枠組み、現代産業文明の功罪					
15	総括と補足					
評価方法	平常点（出席と受講態度）20%と定期試験 80%の総合評価					
評価基準	上記授業内容について、積極的に授業に参加し、十分その内容を理解した者には「A」、また、その程度によって「B」ないし「C」を与える。授業参加および理解度が著しく低い場合は、その程度によって「D」または「E」とする。					
その他	特になし					